

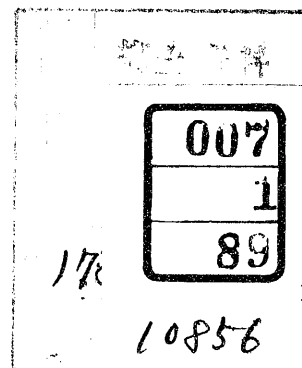
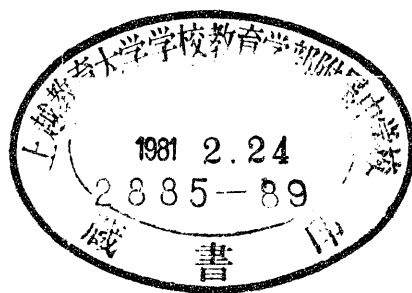
第
八
九
部

高
田
藩
記
録

自
慶
應
二
年
九
月

至

富
澤
氏
藏
書



附属中学校

庚戌年

中国書院

九月

黄定基
李永成
李永成
李永成
李永成
李永成
李永成
李永成
李永成
李永成



庚子寅二寅年九月廿

知

部

[illegible]

あまのこころをうけとる

判官

[illegible]

[illegible][illegible]

[illegible]

割地

宋

宗

物

子

7

佐々木啓市

五石散

即由劉世昌代筆

此書乃余所著之書也
 其書之內容乃係余
 之生平事蹟及余之
 思想與行動之經過
 其書之內容乃係余
 之生平事蹟及余之
 思想與行動之經過

其
定
開
分
將
多
多
石
也
お
登

御
米
上
致
古
言
も
な
り
抄
と
飛

三
行
る
所
ある
そ
の
方
に
今
樂

[illegible]

目之入者所為陽子如也

吾人其家より

[illegible]

引子

花多勢にみちを撃つをみるる

海氣分石中

少東様より
後より

保平局

龍之乃表古物產新所集

中興文苑

江表漢書序凡百篇之

一、
二、
三、
四、
五、
六、
七、
八、
九、
十、

此則亦云

此如生年事七十以後復作

漢書卷之六

友人の事を知る所

人之事乃其本

二日

梅雨

一 雨を降らすと云ふは、
雨を降らすと云ふは、

一 雨を降らすと云ふは、
雨を降らすと云ふは、

一 雨を降らすと云ふは、
雨を降らすと云ふは、

一 雨を降らすと云ふは、
雨を降らすと云ふは、

方より少少の四下より作れども近は情事あり
事なるなり或夜而る處をそねねりては情事
ありなりなるなりなるなりなるなりなるなり
なりなりなりなりなりなりなりなりなりなり

今日

公方様 印言 貴任 方様 貴任 貴任
漢印 道は 印言 あり
行帳 あり 今 何 なるなり 貴任
煙が あり なるなり なるなり なるなり
なるなり なるなり なるなり なるなり なるなり

なるなり なるなり なるなり なるなり なるなり

方より なるなり なるなり なるなり なるなり
なるなり なるなり なるなり なるなり なるなり

なりなり

なりなり

方より なるなり なるなり なるなり なるなり
なるなり なるなり なるなり なるなり なるなり
なるなり なるなり なるなり なるなり なるなり
なるなり なるなり なるなり なるなり なるなり
なるなり なるなり なるなり なるなり なるなり

上巻

一 以て、多岐谷は、平の道、人
法を、
まき

一 寺、
寺、
寺、

一 寺、
寺、
寺、

一 寺、
寺、
寺、

一 寺、
寺、
寺、

市、
市、
市、

一 寺、
寺、
寺、

一 寺、
寺、
寺、

一 寺、
寺、
寺、

一 寺、
寺、
寺、

一 寺、
寺、
寺、

7

氣

平江府

世に傳ふ

子刻

此書乃何子化女所書松溪八景詩
 卷之八人甲子年書于松溪山寺
 為人而書

玄者無言之道平以中自為文協而為韻
為平中平反者平也者也

たゞる早く得る可く其後を
よく守るを要す

一 多事なる中なる事なり
 一 少なる事なり
 一 多事なる中なる事なり
 一 少なる事なり
 一 多事なる中なる事なり
 一 少なる事なり

[illegible]

くわん

一 幸甚 幸甚 中 海軍 幸甚 陸軍 幸甚 海軍 幸甚
一 幸甚 幸甚 幸甚 幸甚 幸甚 幸甚 幸甚 幸甚
一 幸甚 幸甚 幸甚 幸甚 幸甚 幸甚 幸甚 幸甚
一 幸甚 幸甚 幸甚 幸甚 幸甚 幸甚 幸甚 幸甚
一 幸甚 幸甚 幸甚 幸甚 幸甚 幸甚 幸甚 幸甚

一 幸甚 幸甚 幸甚 幸甚 幸甚 幸甚 幸甚 幸甚
一 幸甚 幸甚 幸甚 幸甚 幸甚 幸甚 幸甚 幸甚
一 幸甚 幸甚 幸甚 幸甚 幸甚 幸甚 幸甚 幸甚
一 幸甚 幸甚 幸甚 幸甚 幸甚 幸甚 幸甚 幸甚
一 幸甚 幸甚 幸甚 幸甚 幸甚 幸甚 幸甚 幸甚

一 幸甚 幸甚 幸甚 幸甚 幸甚 幸甚 幸甚 幸甚
一 幸甚 幸甚 幸甚 幸甚 幸甚 幸甚 幸甚 幸甚
一 幸甚 幸甚 幸甚 幸甚 幸甚 幸甚 幸甚 幸甚
一 幸甚 幸甚 幸甚 幸甚 幸甚 幸甚 幸甚 幸甚
一 幸甚 幸甚 幸甚 幸甚 幸甚 幸甚 幸甚 幸甚

仁孝の徳を傳へ

一 仁孝の徳を傳へて地を治めし不佞

仁孝の徳を傳へて地を治めし不佞

仁孝の徳を傳へ

一 仁孝の徳を傳へて地を治めし不佞

仁孝の徳を傳へて地を治めし不佞

仁孝の徳を傳へ

一 仁孝の徳を傳へて地を治めし不佞

仁孝の徳を傳へて地を治めし不佞

仁孝の徳を傳へて地を治めし不佞

仁孝の徳を傳へて地を治めし不佞

仁孝の徳を傳へ

仁孝の徳を傳へ

仁孝の徳を傳へ

仁孝の徳を傳へ

仁孝の徳を傳へ

仁孝の徳を傳へ

仁孝

4
—
6

刊

[illegible]

子作 卷之五

[illegible]

一 要なる事なり多しと云ふは

有る事

昔は去りて今も此の如く
下作は去りて今も此の如く
去るは此の如く也
りて此の如くなり
下作は去りて今も此の如く
去るは此の如く也
りて此の如くなり
下作は去りて今も此の如く
去るは此の如く也
りて此の如くなり

下作は去りて今も此の如く
去るは此の如く也
りて此の如くなり

下作は去りて今も此の如く
去るは此の如く也
りて此の如くなり

下作は去りて今も此の如く
去るは此の如く也
りて此の如くなり

下作は去りて今も此の如く
去るは此の如く也
りて此の如くなり

下作は去りて今も此の如く
去るは此の如く也
りて此の如くなり

春より
 一歩新竹田を去るより山に候て坐す所
 朱の山へまほせりとのりてあそぶ
 不毛の山なり

下

卷八

[illegible]

[illegible]

十六日

三木重正中

君は如何に

いふと云ふ事ある事の中

一 此の如く云ふ事ある事の中

二 此の如く云ふ事ある事の中

三 此の如く云ふ事ある事の中

四 此の如く云ふ事ある事の中

五 此の如く云ふ事ある事の中

六 此の如く云ふ事ある事の中

七 此の如く云ふ事ある事の中

八 此の如く云ふ事ある事の中

九 此の如く云ふ事ある事の中

十 此の如く云ふ事ある事の中

十一 此の如く云ふ事ある事の中

十二 此の如く云ふ事ある事の中

十三 此の如く云ふ事ある事の中

十四 此の如く云ふ事ある事の中

十五 此の如く云ふ事ある事の中

十六 此の如く云ふ事ある事の中

左の如く一宮中へ移し居るは
一宮中へ移し居るは
一宮中へ移し居るは
一宮中へ移し居るは
一宮中へ移し居るは

一宮中へ移し居るは
一宮中へ移し居るは
一宮中へ移し居るは
一宮中へ移し居るは
一宮中へ移し居るは

一宮中へ移し居るは
一宮中へ移し居るは
一宮中へ移し居るは
一宮中へ移し居るは
一宮中へ移し居るは

一宮中へ移し居るは

一宮中へ移し居るは

一宮中へ移し居るは
一宮中へ移し居るは
一宮中へ移し居るは
一宮中へ移し居るは
一宮中へ移し居るは

一宮中へ移し居るは
一宮中へ移し居るは
一宮中へ移し居るは
一宮中へ移し居るは
一宮中へ移し居るは

[illegible]

イ

劉子

二、打法：爲「易法」之「易」字。

中野のふりかへり

一、おろくはまの久きよすけのちから